

福島第一原子力発電所の状況

2016年1月4日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (1/4 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	給水系：約2.6 m ³ /h	17.7	1.10 kPa g	A系： 0.02 vol%
		炉心スプレイ系：約1.9 m ³ /h			B系： 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	給水系：約1.8 m ³ /h	22.3	5.11 kPa g	A系： 0.04 vol%
		炉心スプレイ系：約2.4 m ³ /h			B系： 0.03 vol%
3号機	淡水 注入中	給水系：約2.0 m ³ /h	20.8	0.26 kPa g	A系： 0.06 vol%
		炉心スプレイ系：約2.3 m ³ /h			B系： 0.06 vol%

・2016/1/1 1月分の原子炉の冷却に必要な注水量について、1号機1.2m³/h、2号機1.5m³/h、3号機1.4m³/hと定め、運用を開始。

< 2. 使用済燃料プール(SFP)の状況 > (1/4 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	SFP 水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	14.3 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	29.6 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	20.9 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	10.0 °C

※ 各号機 SFP および原子炉ウェルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

< 3. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (1/4 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種 除去設備 (ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多 核種 除去設備
運転 状況	運転中*1	運転中*1	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 *2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

< 4. その他 >

- ・2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。
- 2015/4/30 12:00～ ブライン(不凍液)循環設備の健全性や地下水の流れによる影響等の確認のため1～4号機建屋の山側(18箇所)を対象に試験凍結を開始。
- ・2015/5/27～ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽の解体作業を開始。

【1号機原子炉建屋カバー解体作業】

1号機原子炉建屋カバー(以下、建屋カバー)解体作業を開始。

- ・2015/5/15 6:45～5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストの値に有意な変動なし。

7/17 7:06～7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。

7/28 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。10/5 に全ての屋根パネルの取り外しが完了。

【サブドレン他水処理施設の状況】

- ・2015/9/3 サブドレン他水処理施設運用開始。

9/17～サブドレン他水処理施設による地下水のくみ上げについて、昼間のみの間欠運転から24時間連続運転に切り替え実施。

- ・一時貯水タンクDの当社および第三者機関による分析結果[採取日 2015/12/19]については同等の値であり、ともに運用目標値を満足していることを確認したことから、2015/12/29 9:59 から 16:39 にかけて排水を実施。排水量は 957m³。
 - ・一時貯水タンクEの当社および第三者機関による分析結果[採取日 2015/12/20]については同等の値であり、ともに運用目標値を満足していることを確認したことから、2015/12/31 10:05 から 15:42 にかけて海洋への排水を実施。排水量は 806m³。
 - ・一時貯水タンクFの分析結果*[採取日 2015/12/22]については、運用目標値を満足していることを確認したことから、2016/1/3 9:57 から 14:49 にかけて海洋への排水を実施。排水量は 711m³。
 - ・一時貯水タンクGの分析結果*[採取日 2015/12/26]については、運用目標値を満足していることを確認したことから 2016/1/4 10:03 から 14:53 にかけて海洋への排水を実施。排水量は 706 m³。
- * 年末・年始期間中は第三者機関が休業のため、当社福島第一原子力発電所敷地内にある2箇所の分析施設で分析を行い、その分析結果は同等の値であることを確認。

【地下水バイパスの状況】

- ・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。
- ・一時貯留タンクグループ 2 の当社および第三者機関による分析結果[採取日 2015/12/17]については同等の値であり、ともに運用目標値を満足していることを確認したことから 2015/12/30 10:05 から 17:16 にかけて海洋への排水を実施。排水量は 1,816m³。

【1～3号機放水路の状況】

※1～3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム 137 の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。

<最新のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて】

<K排水路排水口のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

<H4エリア周辺のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<H6エリア周辺のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<地下水観測孔・海水サンプリング実績>

- ・2015/12/31 に採取した地下水観測孔の水のうち、No.2、No.2-3、No.2-7、No.2-8 のセシウム 134、セシウム 137 の分析結果において、前回値(2015/12/28 採取)と比較して有意な変動を確認。

	【セシウム 134(12/28 採取)】	【セシウム 134(12/31 採取)】	【セシウム 137(12/28 採取)】	【セシウム 137(12/31 採取)】
No.2	:検出限界値(0.42)未満	57	検出限界値(0.53)未満	250
No.2-3	:検出限界値(0.34)未満	17	0.94	73
No.2-7	:検出限界値(0.31)未満	18	1.4	80
No.2-8	:検出限界値(0.38)未満	36	検出限界値(0.57)未満	160

(単位:Bq/L)

その後、地下水観測孔 No.2、No.2-2、No.2-3、No.2-7、No.2-8 について、2016/1/1 に再度採取を行い、分析結果については前回値(2015/12/31 採取)より低下していることを確認。

【セシウム 134(1/1 採取)】 【セシウム 137(1/1 採取)】

No.2	:検出限界値(0.37)未満	1.5		
No.2-3	: 0.45	1.5		
No.2-7	: 0.45	1.8		
No.2-8	: 0.68	2.1		

(単位:Bq/L)

なお、当該地下水観測孔4箇所全ベータ分析結果、およびその他の地下水観測孔のセシウム 134、セシウム 137 を含むガンマ核種および全ベータ分析結果については、有意な変動はない。海水の分析結果については、有意な変動はなく、周辺への影響はないものと考えている。また、海側遮水壁は閉合しており、当該地下水観測孔 4 箇所が設置されている4m盤においては、地下水の汲み上げを継続的に行っている。

・No.1-12 のセシウム 134、セシウム 137、全ベータ値の分析結果において、前回は(2015/12/29 採取)と比較して有意な変動を確認。

	【セシウム 134(12/29 採取)】	【セシウム 134(1/1 採取)】	【セシウム 137(12/29 採取)】	【セシウム 137(1/1 採取)】
No.1-12:	検出限界値(1.2)未満	350	6.0	1,600
	【全ベータ値(12/29 採取)】	【全ベータ(1/1 採取)】		
	25	5,000		(単位:Bq/L)

その後、地下水観測孔 No.1-12 については、2016/1/2 に再度採取を行い、分析結果については前回は(2016/1/1 採取)より低下していることを確認。

	【セシウム 134(1/2 採取)】	【セシウム 137(1/2 採取)】	【全ベータ(1/2 採取)】	
No.1-12:	60	280	630	(単位:Bq/L)

なお、当該地下水観測孔以外のセシウム 134、セシウム 137 を含むガンマ核種および全ベータ分析結果については、有意な変動はない。海水の分析結果については、有意な変動はなく、周辺への影響はないものと考えている。また、海側遮水壁は閉合しており、当該地下水観測孔が設置されている4m盤においては、地下水の汲み上げを継続的に行っている。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<地下貯水槽サンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上